「若年層の痴漢被害等に関するオンライン調査」報告書<概要>

令和5年度 内閣府委託調査

オンライン調査結果

若年層の痴漢被害の実態やその傾向及び痴漢被害に対する認識を把握し、痴漢被害撲滅のために効果的な施策のあり方の検討に役立てることを目的に、若年層を対象としたオンライン調査を実施した。

1. 実施概要

【対象】 全国の16~29歳のアンケートモニター

- (1)スクリーニング調査-有効回答数36,231人 痴漢被害にあった経験のある方の抽出を目的に実施。
- (2) 本調査- 有効回答数2,346人 スクリーニング調査で抽出された痴漢被害経験者に対し、痴漢被害 実態を把握することを目的に実施。 痴漢被害経験、直近で受けた痴漢被害、これまでに受けた痴漢被害 について尋ねた。

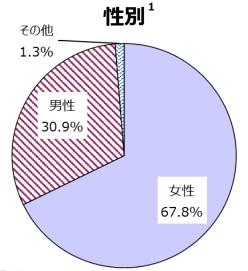
【調査委託先】㈱リベルタス・コンサルティング【実施時期】2024年2月6~29日

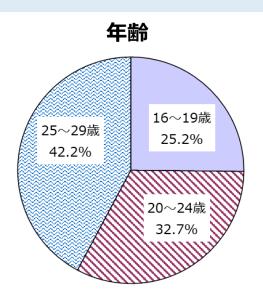
2. 定義

◆若年層:16~29歳の方

◆痴 漢:路上や商業施設などの公共の場所又は電車やバスなどの公共の乗物において、衣服の上から又は直接触られたり、同意がなくされたわいせつな行為。なお、ぶつかられた、怒鳴られた、じっと見られたなどの迷惑行為は除く。

3. スクリーニング調査 ① 回答者属性 (n=36,231)

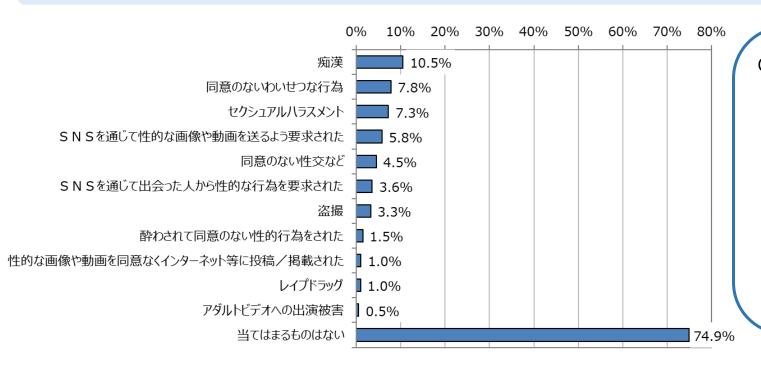




^{1「}性別又は性自認」を尋ねたもの

[※]本調査結果は、登録モニターに対して、内閣府が実施する若年層の痴漢被害の実態・傾向等の把握を目的とした調査であることを示した上で、任意の回答者(=積極的に回答いただいた方) から得られた回答に基づくものであることに留意する必要がある。

② これまでに被害を受けたことがある性暴力の被害(複数回答)(n=36,231)



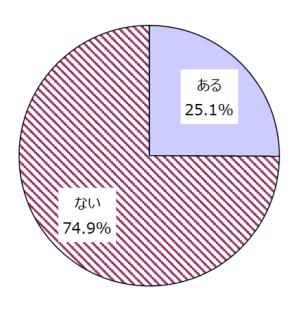
○「痴漢」(10.5%)が最も多く、次いで「同意のないわいせつな行為」 (7.8%)、「セクシュアルハラスメント」(7.3%)、「SNSを通じて性的な画像や動画を送るよう要求された」 (5.8%)、「同意のない性交など」 (4.5%)、「SNSを通じて出会った人から性的な行為を要求された」 (3.6%)、「盗撮」(3.3%)となっている。

③ 回答者性別、痴漢被害経験

	痴漢被害経験	
女性	13.6%	(3,348/24,566)
男性	3.6%	(404/11,200)
その他	11.2%	(52/465)
合計	10.5%	(3,804/36,231)

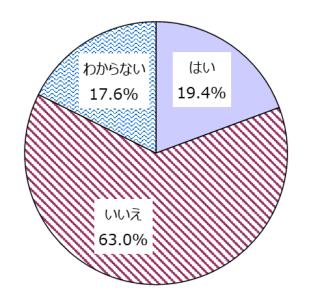
- 知漢被害経験について回答者性別 集計を行った。
- ○「女性」の痴漢被害経験は13.6%、 「男性」の痴漢被害経験は3.6%と なっている。

④ 友人や知り合いからその人が痴漢被害にあった話を聞いたことがあるか (n=36,231)



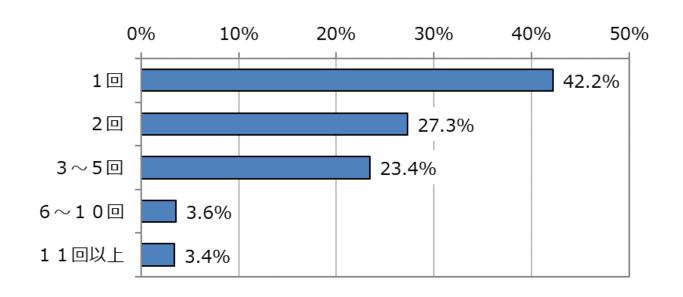
○<u>友人や知り合いの痴漢被害を聞いた</u> <u>ことが「ある」との回答は25.1%となっ</u> ている。

⑤ 日常的な外出時に痴漢にあうのではないかとの不安を感じているか(n=36,231)



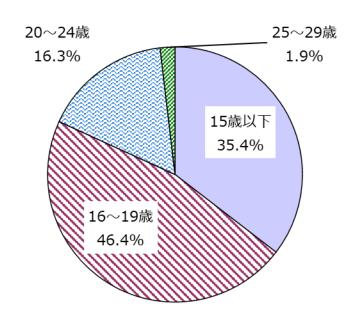
○現在、通勤・通学時などの日常的な 外出時に痴漢にあうのではないかとの 不安を感じているかについては、「は い」が19.4%となっている

4. 本調査 ① 痴漢被害経験 - 痴漢被害にあった回数 (n=2,346)



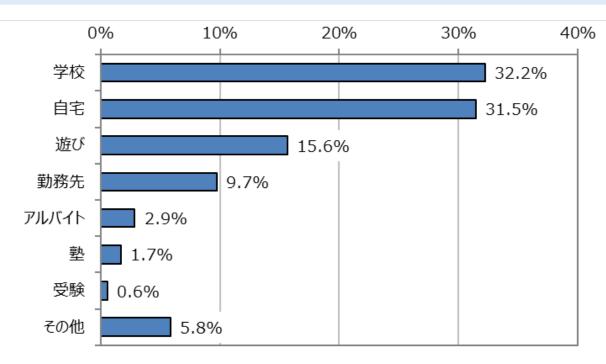
○「1回」(42.2%) が最も多く、次いで、「2回」(27.3%)、「3~5回」 (23.4%) となっている。中には 「11回以上」被害にあったとの回答も みられる。

② 痴漢被害経験 - はじめて痴漢被害を受けたときの年齢 (n=2,346)



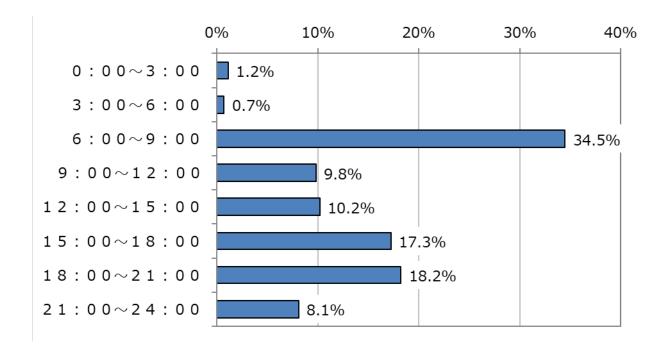
○「16~19歳」の割合が最も多く (46.4%)、次いで「15歳以下」 (35.4%) となっている。

③ 直近で受けた被害 - 被害にあった際、向かっていた場所 (n=2,346)



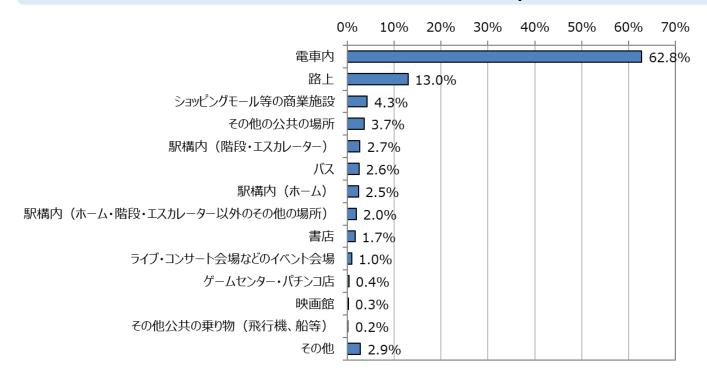
○「学校」(32.2%)と「自宅」 (31.5%)が多く、次いで「遊び」 (15.6%)、「勤務先」(9.7%) となっている。

④ 直近で受けた被害 - 被害にあった時間帯 (n=2,346)



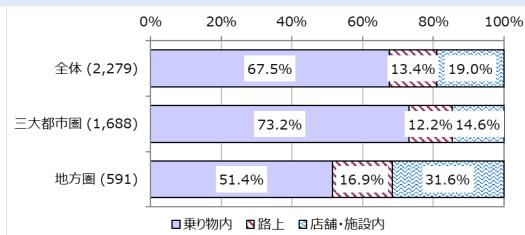
○「6:00~9:00」(34.5%) が最 も多く、次いで「18:00~21:00」 (18.2%)、「15:00~18: 00」(17.3%) が多くなっている。

⑤ 直近で受けた被害 - 被害にあった場所 (n=2,346)



- ○「電車内」(62.8%) が最も多く、次いで「路上」(13.0%) となっている。 電車関連(「電車内」及び「駅構内」) をあわせると70.0%となっている。
- ○「その他」には、アルバイト先、学校、 塾等が挙げられている。

⑥ 直近で受けた被害 -地域区分別、被害にあった場所



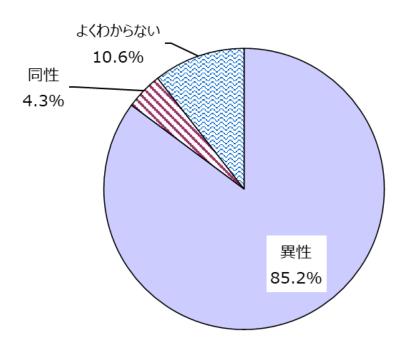
※1 三大都市圏: 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県及び 奈良県の区域の全部

地方圈:三大都市圏以外

※2 乗り物内【電車内、バス、その他公共の乗り物(飛行機、船等)】、路上、店舗・施設内【駅構内(階段・エスカレーター)、駅構内(ホーム)、駅構内(その他の場所)、ショッピングモール等の商業施設、書店、映画館、ライブ・コンサート会場などのイベント会場、ゲームセンター・パチンコ店、その他の公共の場所】の3つに分類。(「その他」は除外)

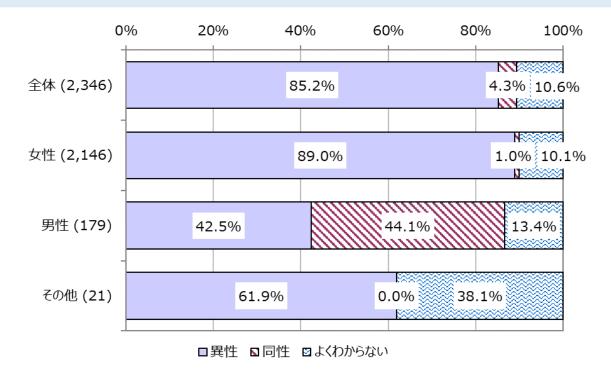
- 〇地域区分別(「三大都市圏※1」と 「地方圏」の2分類)に被害にあった 場所別の集計を行った。
- 〇被害にあった場所を「その他」を除き、「乗り物内」、「路上」、「店舗・施設内」に分類した※2。
- 〇どちらの地域区分でも「乗り物内」が最も多いが、「三大都市圏」は「地方圏」に比べ、他の場所(「路上」「店舗・施設内」)との差が大きい。

⑦ 直近で受けた被害 - 加害者の性別(n=2,346)



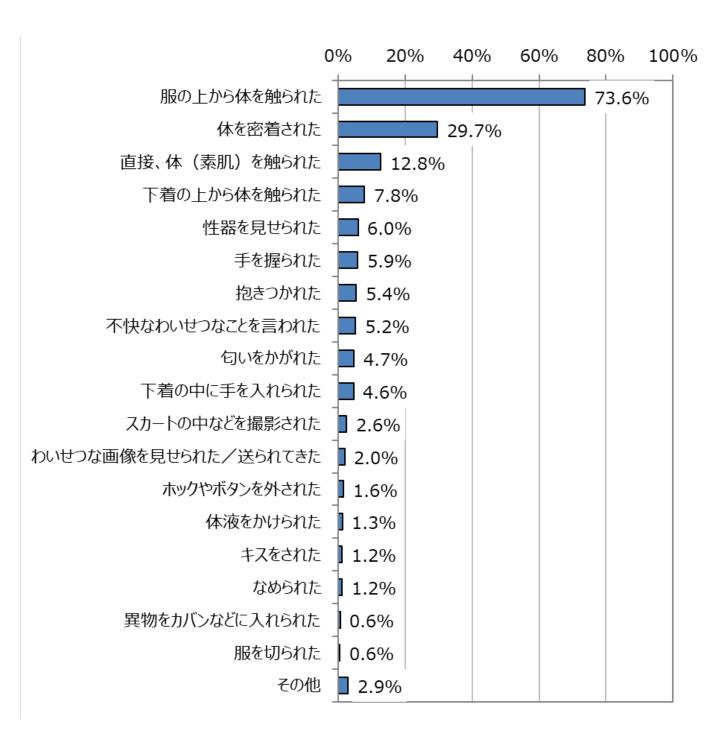
○「異性」(85.2%)、「同性」 (4.3%)、「よくわからない」 (10.6%) となっている

⑧ 直近で受けた被害 - 回答者性別、加害者の性別



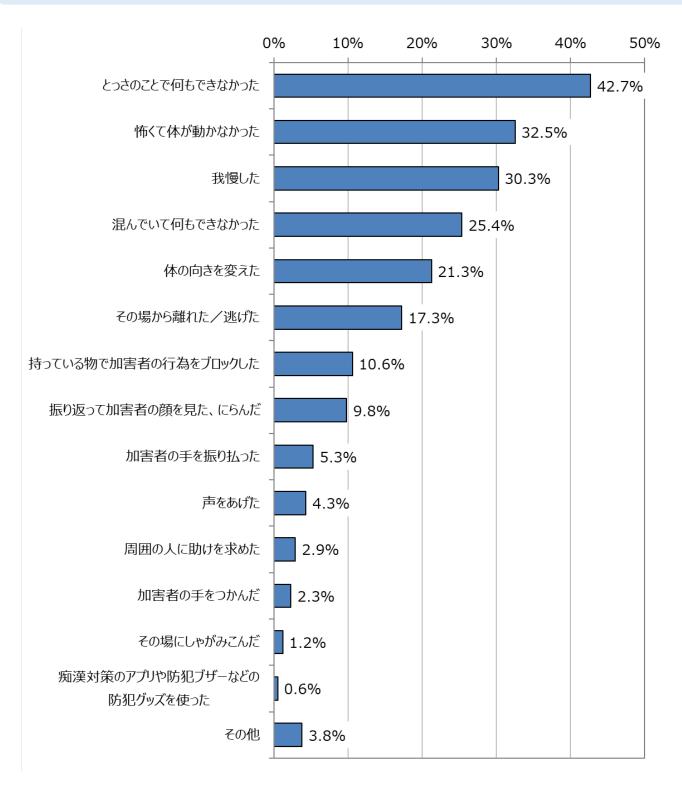
- ○女性では「異性」(89.0%)、「同性」(1.0%)となっている。
- ○男性では「異性」(42.5%)、「同性」(44.1%)となっている。

⑨ 直近で受けた被害 - 被害態様(複数回答) (n=2,346)



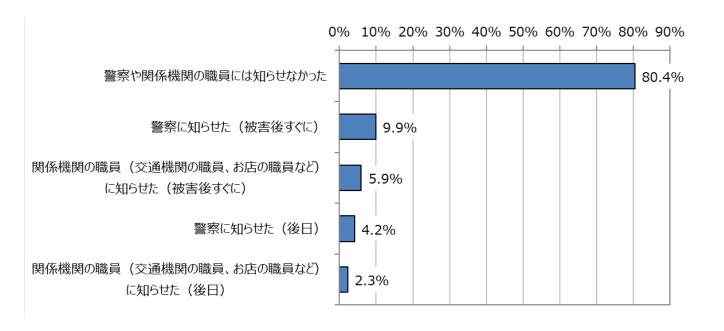
- ○「服の上から体を触られた」 (73.6%)が最も多く、次いで「体を密着された」(29.7%)、「直接、体(素肌)を触られた」 (12.8%)、「下着の上から体を触られた」(7.8%)、「性器を見せられた」(6.0%)、「手を握られた」 (5.9%)、「抱きつかれた」 (5.4%)、「不快なわいせつなことを言われた」(5.2%)等となっている。
- 〇「その他」には、性器を押し付けられた、 わざとぶつかってきた等が挙げられている。

⑩ 直近で受けた被害 - 被害にあったときに取った対応(複数回答) (n=2,346)



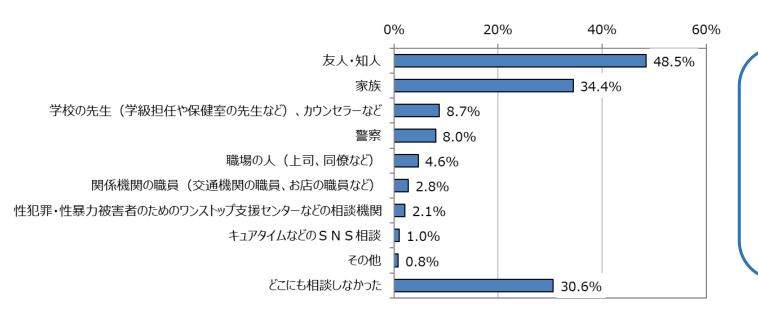
- ○「とっさのことで何もできなかった」 (42.7%)が最も多く、次いで「怖く て体が動かなかった」(32.5%)、 「我慢した」(30.3%)、「混んでい て何もできなかった」(25.4%)、 「体の向きを変えた」(21.3%)、 「その場から離れた/逃げた」 (17.3%)、「持っているもので加 害者の行為をブロックした」 (10.6%)等となっている。
- ○「その他」には、加害者の足を踏んだ、 電車から降りた等が挙げられている。

① 直近で受けた被害 - 警察や関係機関の職員(交通機関の職員、お店の職員など)への連絡の有無(回答者以外の人がした場合も含む)(複数回答)(n=2,346)



○「警察や関係機関の職員には知らせ なかった」(80.4%)が最多となって いる。連絡した回答者では、「警察に 知らせた(被害後すぐに)」が9.9%、 「関係機関の職員に知らせた(被害 後すぐに)」が5.9%となっている。

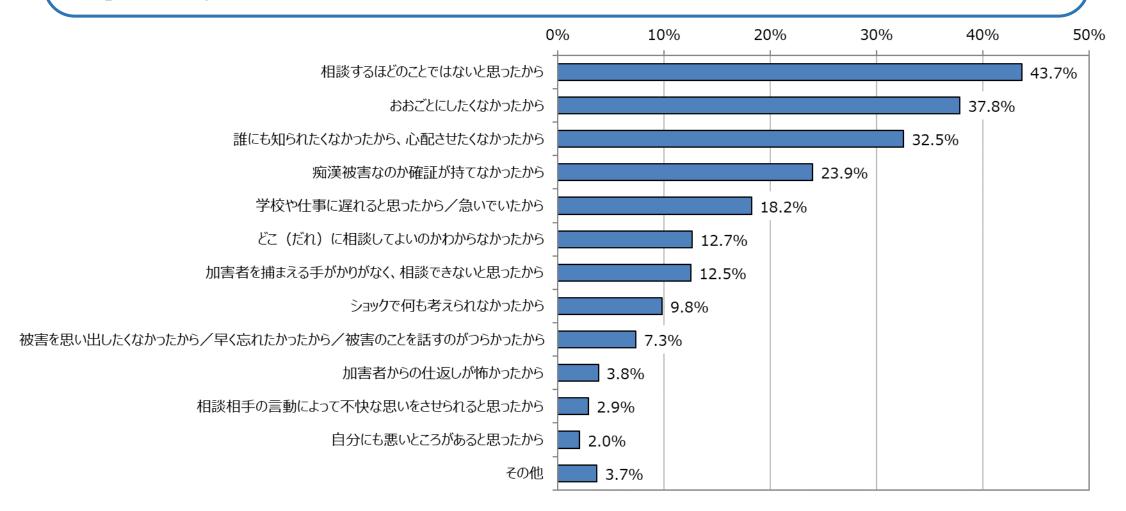
② これまでに受けた被害 - 相談の有無(複数回答)(n=2,346)



〇相談したことがある回答者の相談相 手としては、「友人・知人」 (48.5%)が最も多く、次いで「家 族」(34.4%)、「学校の先生、カ ウンセラーなど」(8.7%)、「警察」 (8.0%)、「職場の人」(4.6%) となっている。「どこにも相談しなかっ た」との回答は30.6%となっている。

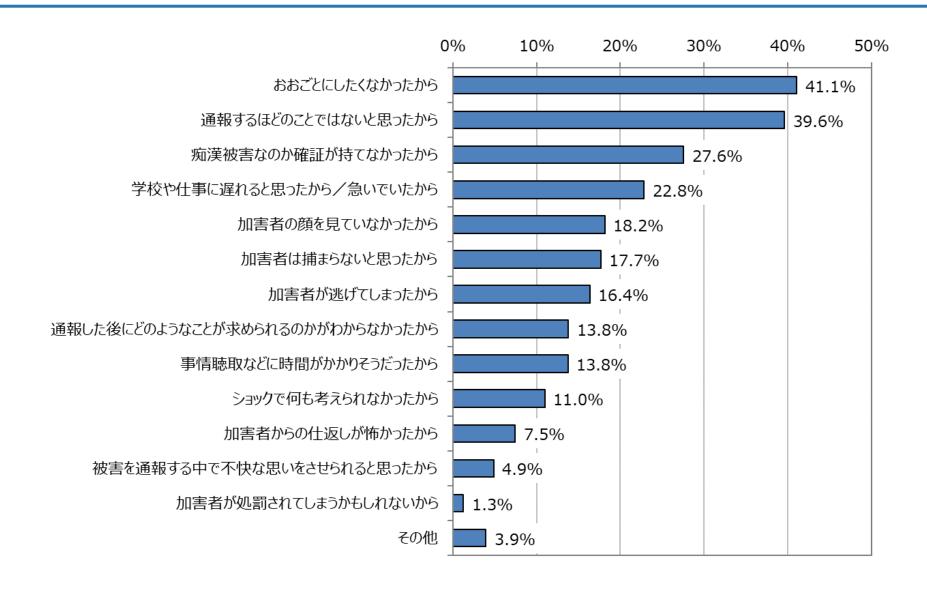
③ これまでに受けた被害 - 友人・家族・相談機関など(警察は除く)に相談しなかった理由 (複数回答)(n=735)

○「どこにも相談しなかった」と回答した方、及び、警察以外の友人・家族・相談機関などに相談しなかった方に対し、その理由をたずねたところ、「相談するほどのことではないと思ったから」(43.7%)が最も多く、次いで「おおごとにしたくなかったから」(37.8%)、「誰にも知られたくなかったから、心配させたくなかったから」(32.5%)、「痴漢被害なのか確証が持てなかったから」(23.9%)、「学校や仕事に遅れると思ったから/急いでいたから」(18.2%)、「どこ(だれ)に相談してよいのかわからなかったから」(12.7%)、「加害者を捕まえる手がかりがなく、相談できないと思ったから」(12.5%)等となっている。

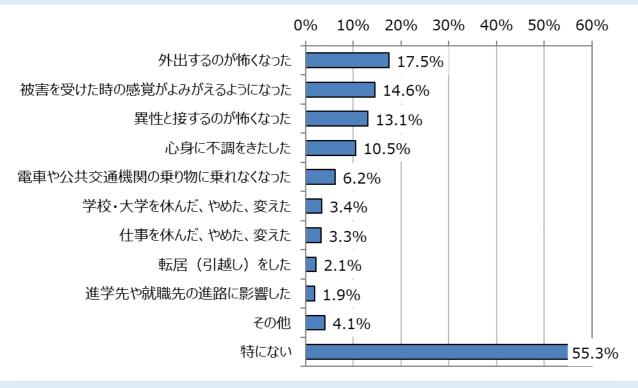


④ これまでに受けた被害 - 警察に通報しなかった理由(複数回答)(n=2,158)

○警察に相談しなかった方に対し、その理由をたずねたところ、「おおごとにしたくなかったから」(41.1%)が最も多く、次いで「通報するほどのことではないと思ったから」(39.6%)、「痴漢被害なのか確証が持てなかったから」(27.6%)、「学校や仕事に遅れると思ったから/急いでいたから」(22.8%)、「加害者の顔を見ていなかったから」(18.2%)、「加害者は捕まらないと思ったから」(17.7%)、「加害者が逃げてしまったから」(16.4%)等となっている。

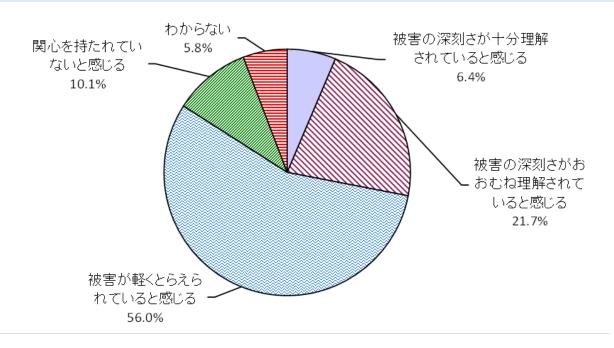


⑤ これまでに受けた被害 - 被害後に生じた生活への影響(複数回答)(n=2,346)



○影響があるとの回答の中では、「外出するのが怖くなった」(17.5%)、「被害を受けた時の感覚がよみがえるようになった」(14.6%)、「異性と接するのが怖くなった」(13.1%)、「心身に不調をきたした」(10.5%)等となっている。

⑩ 痴漢被害について、世の中でどのように考えられていると感じるか(n=2,346)



○「被害の深刻さが十分理解されていると感じる」(6.4%)と「被害の深刻さがおおむね理解されていると感じる」(21.7%)の合計は28.1%である。一方で、「被害が軽くとらえられていると感じる」(56.0%)と「関心がもたれていないと感じる」(10.1%)の合計は66.1%となっている。